

第1回 これからの図書館を考える市民ワークショップ 実施報告

- 開催日時：令和6年4月27日（土） 14:00～16:00
- 開催場所：舞鶴市総合文化会館 小ホール
- 参加者：41名（うち司書4名） 10代～80代（男性20名、女性21名）
- 傍聴者：7名
- 内 容
 - 挨拶及びワークショップの趣旨説明（生涯学習部長）
 - （仮）中央図書館設計業者からの説明
 - 「舞鶴市図書館計画をどのように読み解き、設計案を作成したのか」
 - 設計案についての質疑応答
 - グループワーク
 - 設計案を見て「不足点」「充足点」について意見を出し合う
 - グループワーク（ワークシート）で出た意見
…別添資料①②のとおり（※原文のまま）
- ワークショップの様子



▲設計事業者からの説明



▲班ごとに意見交換



市民からの意見（充足点）

	充足点	理由
全体の印象、 外観について	広々した印象がある	1階のメインの通路が広い
	明るい感じがいいと思う	質問者の「ガラスが全面は問題」というのは共感できるところはあるが、明るいスペースは保ってほしい
	入ったときの開放感	また利用したいって思わせるのが大切
	開放感	吹き抜けがあり、開放的に読書や調べものができる。息抜きがしやすい
	開放感がある	吹き抜けの部分がある
	広い。開放感	西駅から通路のまま2階につながるとかできるのでは？
	気持ちの良い空間	2つの吹き抜けを中心とした開けた空間は多いと感じた
	オープンな感じではよいが…	明るく、ゆっくり過ごせる空間になりそう
	自然光を取り入れる設計となっている	ガラス張りはいいと思う。ただし、全面でなくてもいいのではないか
	採光はとてもよいと思う	ルーバー、吹き抜け等で光にあふれる健全なものであると思います
	明るそうでよいと思う	外から見えるから、外も見える
	ガラス張り	開放感がある
	建物のガラス面の採用はたいへん良いと思う	ガラスの強度、遮熱性能は十分検討してほしい
	表にキッチンカーなど停める場所がある	館内はシンプルに飲食可の場所+自販機でよいと思います。
	今回初めて参加して基本設計には満足	福知山、宮津より素晴らしい
	デザイン。外装デザイン	シンプル、ルーバー、街のシンボルとしてデザインは大切
にぎやかな図書館を目指している	図書館がいままで静か過ぎだと思うところはあったのでよいと思った。会話して勉強できたら嬉しい	
スペースを変更することが最初から考えられている	今後、使用する団体や使い方は変わるので、変更を最初から考えてあるのはいい	
駅に近い	西駅は学生の乗り継ぎが多い。学生が行きやすそう（というか来てほしい）	

	軒下が多くある	雨よけ、日差しよけによい。もっと深くあってもよい
	参考する図書館は守山市の図書館が参考になると思います	
	「拡張性に優れた構成」という点に期待	蔵書をストックしていく方向がしっかりできることに期待ももてる（準美術館所蔵庫なども検討してほしい）
	図書館としてのベーシックな機能を満たす施設である	図書、Wi-Fi 環境、交流スペース、子どもスペース、屋外スペースなどがある。大半の利用者のニーズを満たしている
	ランドスケープ	周りの敷地にも配慮している→図書館に溶け込む
	上下の移動のしやすさ	階段が中央にあり、どこからでも移動しやすいのはよいと思う
	京都北部のハブ、駐車場	
図書館内のエリア分け、サービス内容について	居場所がいろいろありそう	吹き抜けに向かう席、話し合える席
	くつろげるスペースが多い	静かに勉強できるスペースがもう少しほしいと思った
	エリア分布は OK	しかし、今後のワークショップでの意見を取り入れること
	気持ちがよく、周りの音も許容した勉強スペース	風景も見通せ、少しの雑音も感じながら集中できる
	わいわいガヤガヤ、遮音スペースの両立	
	市民活躍テーブル	市民のための図書館が実現できそう（シンボル）
	活躍テーブル	レファレンスしやすい？
	市民活躍スペースがゆったりしている点がよい	いろいろな使い方ができそう。トークイベント等にも使えそうです
	外に開く交流スペース	建物の境界がとけて、広がるようなイメージ good。活動が延長されるような配置 good。
	世代別と交流の両スペースがある点	交流だけでなく、世代の課題別に対応することは重要なので
	「一人になれる席」があるのがいい	一人でゆっくりしたいので
	一人になれる席	いま、個人の課題が大きい時代なので、一人になれるなら行ける人も多い
	ドライブスルー返却	返却の手間が省けることはストレスがなくなってよい

子どもエリアが充実している	子連れでいきやすくなる
子どものスペースをしっかりとってくださっていると	子どものトイレの充実があればもっとうれしいです。たくさんの絵本、児童書があるのを期待したいです。あと、重度心身障害の方など、寝転んでオムツ交換できる場所があればもっといろんな方が利用できると思いました
子どもエリアが充実している	寝転んで本が読めるし、手に取って見られる
飲食スペースがある	息抜きをしながら本を楽しめる
喫茶店を開いてほしい	西駅東口側は高齢者が多くおられるので、交流スペースのなかに喫茶店等を設置していただければ幸甚です。ぜひお願いいたします
ビジネスエリアは基本計画に沿ってよい	高専生等が地元企業の資料等を見ることができるとすれば、若者流出の流れに抗することもできそう
ビジネスエリアがよい	コワーキングスペースとして有効
ICT、DX、ビジネスエリア	
BM 車庫があるところ	
BM 車庫	移動図書館の案は素晴らしいが、中央図書館はリンクしない（いまの施設でもできる）
管理スペースが広い	働く人の環境がよくなるのではないか
屋外スペースがあるのはうれしい	いま、東図書館の公園で遊んで図書館に行けるのはうれしいです（屋外スペースをつくるにあたり立ち退きなどあれば、それで困る人がいるならいいです）
雑誌新聞コーナー	新刊を置くときは維持費がたいへんそう。メジャーなものじゃないとあまり置く意味がなさそう
開架冊数に期待	30万冊開架。鮮度期待しています
開架、準開架	手に取れる本を最大限増やすことを考えている
地域連携拠点	この規模だからできる
読書席	あちこちに読書できる場所あってよい
大人の学ぶスペース	生涯学習スペースはやはり必要

市民からの意見（不足点）

	不足点	理由
外観について	ガラス張り	光熱費、本が日焼けする
	デザイン。そこまでガラス（透明）でなくてもよいと思う（全面にしなくても）	1階はガラスにしてもそれほど景色がよくないので。2階からのほうが山や空を見ることができようと思う
	ガラスや吹き抜け。見た目重視では？	西駅のガラスが白く濁って汚い。何十年たってもきれいなまま？吹き抜けも1階の音が2階に響くと聞く。1階はワイワイできるスペースが多く、2階は静かそう。ほんとに大丈夫？
	外観の舞鶴らしさアピール	東京北区には赤レンガの図書館がある。地元らしさのアピール
	ガラス張り四方はやばい（東側、西側は特に壁がよい）	朝陽、西陽が蔵書を痛めない構えがほしい
	日光をルーバーで遮るのはよくない	直射日光では本が傷む→コンクリートに変える。周囲を水場で囲み反射日光を天井に当てる
	ガラスの壁面が多過ぎる感がある	ガラスは定期的なメンテナンスが求められる。清掃性、費用（ランニングコスト）はどうか？
	つくったものをそのまま持つてくるようなことをしないということでしたが、舞鶴ならではの特徴（性）はどこ？	外観を見る限り、印象的な特徴がないように感じた。駅前の風景として、たとえば東舞鶴の赤レンガ等
図書館内部のことに	本のぬくもりを感じられるようにしてください。できれば地場材を。	お話のなかで内装のことなどわからなかった。明るいだけでなく落ち着く感じがあると思う
	内装	木質を多用する等、暖かいイメージで
	上記と共に床材も目に優しい、ソフトで	ハキモノの点もありますが
	音は上にのぼるのではないでしょう。2階に少し閉じた場所があったほうがよいのでは？	2階もすべて解放されていたら、下の音も上がってくるのでは？と思いました
	下から上、上から下は見えないほうがよい	必要ではない
	交流・屋外スペース	カフェ等飲食ゾーン（テナントも検討）。駅・バス待合スペース（学生も含む）
	交流スペース	点在している方がよいと思う
	（誰もが）ゆっくりくつろげるスペースを広げてほしい	高齢者が目的もなくとも行けば本を読め、雑誌、新聞が読めるなど、1日中でも過ごせる空間が欲しい

雑誌、新聞エリアを1階へ	高齢者、障害者も利用しやすい
点字図書、聞こえない人への図書の場所がない	障害者の利用しやすいスペース確保
車いす配慮の書架が1階だけ	もっと色々な本を楽しむべき。これからもっと高齢化進むので
バリアフリーの観点からも、エレベーターを設置し、端に置くのではなく、利用しやすい場、特に2階での利用しやすい場に設置を！	高齢化が進むなか、デザインではなく、エレベーターを使っても閲覧しやすい場に、設置してほしい
情報発信	舞鶴の情報をもっとPRするには1階に配置の検討をしてはどうか
1階と2階の間のドア（区切るもの）	1階はにぎやかなところだけど、2階は静かなところだと思ったので、2階の人が音を気にせず過ごせるようにしたい
子どもたちが大きな声を出してもいい場所は？	遊べるスペースがどこにあるかわからない。吹き抜け、声が響かないか心配。
学生の利用が多いと思うのですが、棲み分けは十分ですか？	うるさい学生もいると思われます
雑誌、新聞エリアは1階のほうが良い	気軽に立ち寄って利用するイメージがあるので、1階のほうが利用しやすいと思います
交流スペースは広くとれるように仕切りや机や椅子も可動式にしてほしい	おはなし会や音楽のライブ、作品展など多目的に使いたい。コロナ以降あまりギューギュー詰めにはできない
書架の高さ	圧迫されるイメージ。高いところの本がとりにくい
傘置き場が欲しい	舞鶴は雨が多い。駐車場から傘が必要。雨、雪で濡れた傘をどうするか
書架のなかに椅子が欲しい	足が不自由なので本をとってその近くで見たい
本への配慮	1階は特に本に直射日光が当たって傷みやすいのでは、と思った
録音編集室は不要では？	西市民プラザに同様の施設があるため利用者の食い合いにならないだろうか？
録音編集室はあるか	1階の水没があるのに、あまりいらぬのではないか
自習室が欲しい	高校生とかが長期休みに学校が使えない。自習できるスペースが欲しい
学習テーブルを増やしてほしい	学生が図書館を利用する理由は学習の場として利用するため。集中して。呼び込むために。
子どもの居場所、学習スペース	
カフェ、会議室	

	リモートワークができる場所	都会の仕事を舞鶴で
災害対策について	災害対策が弱い	ハザードマップで1~3m水没する。数万冊の本が水没するのは著者に申し訳ない。水没するとかまぼこ板にしかみえない。
	防災の話をされているが、水がつく前提で、移動できる書棚でエレベーターに乗せて2階に避難させるとか、そういうのも検討されているのか。かさ上げ以外の水害対策の検討。	昔から水がつく地域は、2階に上げるための滑車があったり、つくの前提で考えてみるのはどうかな？建物を上げて、それ以上につくこともあるのでは？動かすのはたいへんなので、密閉できる部屋とか…。床が上がるとか。
	建物の計画地盤は十分に検討してほしい	伊佐津川が天井川で最近の天候不順で水位がオーバー（堤防を）する寸前を経験しています
	かさ上げは3mはほしい	水没したら、蔵書が本当にダメになる
	災害のとき、大丈夫ですか	舞鶴は雨が多いので、1階が中心だと本が水没する恐れがあるため、（図書館は）災害拠点になると思うので、みなが避難できるように、本が無駄にならないようにしたいため
	かさ上げが足りない	いまでも大雨が降ると民家では床上浸水まで起きている状態である
	防災予防を第一に考えてほしい	地震列島の上にある日本だから。洪水、高さ
	洪水対策	
	防災のことはどうなっているか	避難所にできないか？
周辺整備について	駐車場	車社会（舞鶴）なのでできるだけ多くほしい
	駅の活用	駅と図書館をつないだら活用しやすい
	駅からの連携	部屋（館内）へつながるところに屋根。雨に濡れない
	西舞鶴駅の交流センターとの一体性をもたせる	図書館の利用度が向上すると思われる
	アクセス	駅からの通路。雨・雪の日
	駐輪場がどこにあるか？	普段、自転車で行くので説明がほしい。（前のワークショップで書きましたが）レインコートをかけて乾かせる場所がほしい
	駐車場は有料？無料？	JR利用者やイベント利用者が図書館を利用する人と一緒にならない区別は？
	駐車場は広いですか？	車がないと行けないから
	駐車場、1階部分駐車場案	駅、電車、バス停、自転車利用どれくらいと見積もったのか。車利用どれくらいと見積もったのか疑問

	駐車場が少ない	舞鶴は西と東があって、東から来る人は車で来館します
	水路の件	お城の水路を守ろう
全体について	複合施設にできないか	たとえば、1階にカフェやレストラン等、楽しめる施設（アウトレットのような）を置き、2階に図書館とするのはいかがでしょうか。舞鶴の一等地を無駄なく活用したいです。市役所、会議室、体育館などもいいと思います。
	複合施設でない	駅前の一等地をどう活用するかは舞鶴全体的発展に関わる。ただ図書館という箱をつくるのではなく、もっと価値あると土地の使い方があるのではないか。図書館をつくるのはいいアイデアだが、商業施設含むものにしてほしい
	土地の活用がもったいない。舞鶴最後の一等地です。	複合施設にしてはどうか？図書案以外に体育館・市役所・レストラン・プール・会議室がほしい。音楽スタジオ
	自習室、または複合施設としていろいろな催しにも利用できるスペースを！ギャラリーなども	この際、（いろいろなものに）使いやすいスペースを設置してほしい。読者には支障にならないように
	あらゆる人々の利用	車いすの方、子ども=子どもも一般書も利用するので、その想定が必要では
	駅の近くですが、遮音性は十分でしょうか。	基本、静かなスペースだとうれしいので、音がよく聞こえるようだと利用しにくいと思う
	吹き抜け部分が多過ぎる	将来的に本が増えてきたら、書庫に変更できると良い
	吹き抜け	電球などどういう風になるのかわからないし、考える必要ないのかもしれないけど、交換とか大丈夫なのか。でも少しあると広がりを感じられる
	ランニングコストが不安。シンプルにつくってほしい	設計された空間を維持するための費用と資料を提供するための費用の割合。大きな建物で資料費がひっ迫するのではが心配
	ランニングコスト、今後の管理（断熱性、照明変えづらい等…）	冷気は下に溜まるので、1階はすごく寒いのでは…
	今、公共施設（昭和63年建設）で働いているが、照明器具などの交換がしづらい。そこも考えているのか？	特殊な形状の照明器具だったり、天井が高くて足場をつくらないと交換できない等、長く使うには初めにそういう部分も考えてほしい
	陸屋根に雪がたまる	同じく

観光誘致支援	せっかく誇れる図書館なので、 TSURUGABOOKS&COMMONS ちえなみきのように視察募集できるくらい、また宿泊スペースをつくるくらいで観光誘致にもひと役買えないだろうか。ここは災害時には避難ペースにも変化対応できる
近くの企業との連携。具体案、スポンサーコーナー	立派な図書館が近くにあることで、潤う企業等もできると思う。大型スーパーや塾など、“地域スポンサーコーナー”、フードバンクやブックバンクに提供してもらうなど。塾（問題集）
この図書館は人口減少を食い止める目的はあるのか？	基本計画には図書館は移住するのにもっとも選ばれらるとあるが、中央図書館によって舞鶴に人口がどれくらい増えるのか目標を数値で出してほしい
基本計画のなかで、入館者の導線が知りたい	特に高齢者なり身障者がスムーズに移動できるように
体育館が欲しい	東体はボロくて使えない。水害面を考慮して、下を体育館にしてはどうか
シックハウス対策	京丹後網野町で図書館新築のときシックハウス発病したと聞いているので万全を期していただきたいです
デザイン。ご説明の不足ではないのですが、優しい照明をお願いしたい	心が休まる雰囲気
予算の説明	なぜ5億から30億になったのか
予算	舞鶴市さん、もっと出せませんか…遠藤さんもっと良いものつくってくれると思いますよ
30万冊の根拠	誰が読むのか？
今日の説明だけではわかりにくい	模型やイラストだけではイメージするのが難しい
人口が減っているし、電子書籍があるのに、大きな38億円の図書館が必要なの？	いまの東西図書館を残して充実させてほしい
東舞鶴の人は周りのみな、行けないと言っている	不便になる、利用できない
東図書館を除去する時点で、充足点を指摘できるわけがない！！	
そもそも中央図書館の青写真ができてのワークショップですか？	

<p>30年後には舞鶴の人口が5万人を切るとのことで、38億円かけた立派な図書館は果たして必要だろうか？</p>	
<p>こんな大きな建物がいるか？</p>	<p>人口減少、税収減で図書館いるか？</p>
<p>一度白紙に戻すのは？水害、ガラス、光熱費、ランニングコスト、お金の心配が大きいとか言うのなら</p>	<p>水害の西地区の状況を聞くと、図書館つくるでよいのだろうか心配。市民の水害対策をまずしてからが大事かも。ここでないと駄目なのか</p>
<p>一度白紙に</p>	<p>ほかに必要なことあり。市民の不信感あり</p>
<p>司書の方を交えての話し合いができてなくて残念でした</p>	